

# 異文化理解を目的とした北欧短期文化研修プログラムの開発 ーデンマークのフォルケホイスコーレの活用ー

## Development of Short-Term Study Abroad Program in North Europe to Understand and Interact with Other Cultures: Utilization of Folk High School in Denmark

新藤 照夫

### 要旨

留学や研修先としては英語圏の5カ国（イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド）が主流であるが、本稿では新たな対象地として、英語のレベル、多文化共生環境、留学費用、治安面でのメリットを持つ北欧を取り上げ、中でもフォルケホイスコーレの発祥地であるデンマークに焦点を当てている。代表的なフォルケホイスコーレである International People's College のサマースクールのプログラムを柱とするとともに、独自の異文化体験研修を追加し、異文化理解、多文化共生を主眼とした短期（4週間）の文化研修プログラムを提案している。

キーワード：異文化理解、多文化共生、短期研修プログラム、フォルケホイスコーレ、北欧

### 1. はじめに

日本の多くの大学で、短期の英語圏への留学や研修プログラムが設けられているが、派遣先としては、イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの5カ国が主流となっている。また、田丸（2020）によると、2019年の主要5カ国に1ヶ月以下の短期で留学した日本人の人数は、アメリカが5800人代で最大であり、以下はオーストラリア、カナダ、イギリス、ニュージーランドの順となっている。一方で、2010年代に入りフィリピンやマレーシアが留学先に選ばれるようになり、2019年の短期留学者では、両国ともに1500人代の留学生数となり、ニュージーランドより人数が多くなっている。

フィリピンやマレーシアへの留学希望者の増加は、主要5カ国よりも地理的に近接している点、英語学習プログラムが充実している点に加え、留学総費用が主要5カ国より比較的安価である点も影響していると考えられる。短期留学の費用を見ると、主要5カ国における1ヶ月程度の短期留学の授業料と滞在費用は、平均して30万円～40万円となっており、渡航費用、保険費用等を合計すると、45万円～60万円となっている。フィリピンやマレーシアは、主要5カ国よりも10万円～30万円ほど安い費用で留学が可能となっている。

主要5カ国に加え、費用面や英語プログラム面の影響によって台頭してきているフィリピンとマレーシアに対し、注目すべき留学先の地域として北欧がある。北欧の国々は、社会福祉が充実しており、教育に関する費用が主要5カ国よりも低く、ヨーロッパの中でも比較的治安が良く、教育水準も高い。また、Education Firstによる The world's largest ranking of countries and regions by English skills (2022 edition) の英語力ランキングでは、北欧4カ

---

長崎国際大学人間社会学部国際観光学科 准教授

国が上位8位までに位置しており、22位のフィリピンや24位のマレーシアよりも英語運用の環境は充実しているといえる。そのため、国外からの留学生に対して充実した英語プログラムを提供している国も多い。

本稿では、北欧の中でもフォルケホイスコーレの発祥地であるデンマークを取り上げ、現地のフォルケホイスコーレの多文化共生環境の中で、異文化理解を主眼とした短期研修のプログラムの開発を提案したい。短期留学や短期研修の効果としては、言語面での向上はそれほど大きくないとされ、異文化理解や情意面での肯定的な向上や、語学学習への意欲の向上が見られるとされる<sup>1</sup>。デンマークのフォルケホイスコーレは、幅広い年齢層に加え、多様な背景を持つ人々が集まる多文化交流の場である上に、英語を使って様々なことを学ぶという体験が可能であるため、短期研修に組み込むことによって、異文化理解の情意面での向上や、学習対象の英語からコミュニケーションのツールとしての英語へという意識の変容に高い効果があるものと期待できる。また、日本で行われている教育とは大きく異なる教育システムで学習することで、将来教員になる学生にとっては、教育観や手法に対する新たな視点をもたらす可能性がある。さらに、フォルケホイスコーレの研修後には、1週間のデンマークとスウェーデンの首都を周遊する研修を追加し、北欧の2大都市を訪問することで、多文化共生社会の実態を研修し、より有益な異文化理解体験を提供するプログラムにしたい。

デンマークのフォルケホイスコーレにはサマースクールを設定している学校があるが、平均して英語圏の主要5カ国よりも授業料と滞在費用が安価である。日本の大学でフォルケホイスコーレを活用した短期留学や研修プログラムを実施している大学は多くはない<sup>2</sup>。このような背景を踏まえ、大学における新たな短期研修先としてプログラムを設けることで、教育学部の学生だけでなく、福祉や心理学を専攻する学生にとっても、専門分野の視点から研修することで、有意義で魅力的な研修となるとともに、特色ある研修として注目を集める可能性もある。

以下では、デンマークの概観、フォルケホイスコーレの概観、サマースクールの紹介、サマースクール後の追加研修プログラムの考察の順に展開し、最終的に4週間の研修プログラムの具体例を提案する。フォルケホイスコーレでのサマースクール後の追加研修の提案にあたっては、より実現可能なプログラムとするために、過去に行った現地調査の結果を採り入れていく。

## 2. デンマークの概観

ここでは、デンマークが研修先として適していることを示すいくつかのデータを紹介したい。UN World Happiness Reportによる国民生活満足度においては、2012年以降常に3位以上に位置し、過去3回世界一となっており、2019年から2022年にかけては4年連続第2位となっているほど社会福祉が充実した国である。教育面に関しては、Universitas 21's 9th & Final Ranking of National Higher Education Systems 2020にて、第3位に位置しており、高い教育水準を維持していることが証明されている。日本人の留学先の主要5カ国の場合は、アメリカが第1位、イギリス第6位、カナダ第7位、オーストラリア第9位、ニュージーランド第14位となっており、デンマークは4カ国よりも上位に位置している。さらに、The world's largest ranking of countries and regions by English skills (2022 edition)では、第5位となっており、母語とともに高いレベルの英語が使用されている。

そのデンマークの首都であるコペンハーゲンは、人口は約55万人の北欧南部の最大都市であり、北欧の玄関口としての役割を担っている。また、北欧デザインの発祥地として位置づけられるだけでなく、近年では、デンマークのことを“Denmark is a leader in green patents”、コペンハーゲンは、“Sustainable City”と言われるように、環境対策のリーダーとしても世界の各都市から注目を集めている。

2016年に実施した現地調査では、コペンハーゲンを中心に訪問し、学生の渡航先として安全が確保でき、異文化理解の体験が充実しているのか視察した。視察によって、コペンハーゲンでは治安が良く、全ての場所で英語を用いてコミュニケーションをとることが可能である上に、歴史、文化、自然、産業をテーマとした多様な観光スポットが存在しており、多様な異文化理解の体験が可能であることがわかった。例えば、アンデルセンの縁の地や世界遺産の訪問という従来型の名所を廻る研修にとどまらず、伝統工芸や生活雑貨に関するスポットや日本でも人気のあるブランドショップの調査など、研修対象として訪問できる場所が多岐に渡っており、移動も公共の交通手段を利用することで、短時間で広範囲に移動できることがわかった。

このようにデンマークは英語圏の主要5カ国に劣らない、多様な魅力を備えた研修先であることがわかる。

### 3. フォルケホイスコーレの概観

フォルケホイスコーレ (Folkehøjskole) は、英語で Folk High School を意味し、民衆に開かれた学校であり、多様な学問分野が設けられ、受講者は興味に応じて自由に科目を選択できる。通常の学校に存在する入学試験、成績評価、試験という制度もない。国内では高校を卒業した人がギャップイヤーを利用してフォルケホイスコーレに一定期間通う場合もあれば、社会人が新たな職業に就くために学ぶ場合もある。自分の進むべき道を探す場であったり、自己実現の場であったりする。全寮制の学校で、教師と学生が共に暮らし、共に学ぶという環境となっている。国籍や年齢の違う多様な他者が共存する環境で、授業ではディスカッションや体験を主体とし、参加者が主体的に活動していく中で学びや気づきを得ることができる。以下はフォルケホイスコーレに関する Britannica の説明である。

**folk high school**, type of residential school for adults that is standard in Scandinavian countries and has also been adopted elsewhere in Europe. The concept of the folk high school was originated in Denmark by the theologian N.F.S. Grundtvig as a means of providing the common people with a knowledge of their history, religion, and cultural heritage. The model school for the movement was established by the young educator Kristen Kold in 1851 and was soon extensively imitated. Following Denmark's military defeat by Prussia in 1864, these folk high schools served as a powerful instrument of national regeneration. There are no entrance qualifications, grades, or leaving examinations. The schools are private but receive state subsidies. Courses are short in duration, lasting from several weeks to one year, and are offered in vocational training, physical education,

foreign language, the arts, and subjects of general interest in literature and social science. Informal group discussions, cultural enrichment activities, and recreational outings supplement the classroom curriculum. Residential life is also a cornerstone of the learning experience; students and teachers live, work, and play together. Most students are young adults, and many folk high schools attract an international body of students.

フォルケホイスコーレには、学校によって学習期間がいくつか設定されているが、中には国外からの留学生向けにサマースクールを実施している学校もある。次章では、そのうちの一つでデンマークで代表的なフォルケホイスコーレとなっている International People's College のサマースクールに焦点を当て、その内容を概観し、短期研修プログラムに組み込むことの有益性について論じたい。

#### 4. International People's College のサマースクール

International People's College (以下 IPC) は、首都コペンハーゲンから電車で45分くらいのヘルシンゲル (Helsingør) という海辺の町にある。美しい自然に囲まれた環境にあり、世界遺産へのアクセスも良い。コースにはグローバルスタディを取り入れ、世界中から学生が集まるデンマークで唯一の「総合的な国際フォルケホイスコーレ」である。多様な背景を持つ学生が、共に暮らし、共に学ぶことができ、サマースクールでは全ての授業や活動が英語で行われる。日本人の学生も留学している実績もあり、多文化共生環境の中、英語のスキルだけでなく、グローバル人材になることを目指し、異文化コミュニケーションスキルに必要なグローバルな視点やマインドを獲得することが期待できる。

通常授業として設定されている学習期間は、春学期が12週、24週で、秋学期は18週間となっている。この学期のプログラムとは別に、国外からの学生向けに夏期の3週間のサマースクールも設定されている。英語を集中的に学びながら、ワークショップ、様々なアクティビティ、講義、エクスカージョンを通じてデンマークの文化的側面に対する学びや気づきを得ることが可能となっている。2023年度の夏期に参加できるサマースクールの概要は以下の通りである。主要5カ国の同期間のプログラムと比較すると、安価であることがわかる。

|          |   |
|----------|---|
| 期間 (3週間) | 2023年7月27日～8月16日  |
| 英語の授業の回数 | 52レッスン (修了書発行)  |
| クラスサイズ   | 1クラス最大12名   |
| 食事       | 平日3食提供、休日2食<br>(30%～60%はオーガニック料理、ベジタリアン・ビーガン食提供可)         |
| 宿泊場所     | 学内の寮 (ツインルーム * シングルルームは追加料金)                              |
| 費用       | 13,500DKK (約1,800EURO)<br>授業料、宿泊料、食費、エクスカージョン (2回分) の費用含む |

2022年に IPC で実施されたサマースクールの内容は以下の図1～図4の通りで、英語のレッスンは午前中に組み込まれており、午後と夕刻はアクティビティが設定されていることがわかる。

**2022 English & Danish Language and Danish Culture & Society**

**Week 1**

INTERNATIONAL PEOPLE'S COLLEGE  
DEN INTERNATIONALE HØJSKOLE

Course coordinators: Søren Launbjerg, Rod Lee and Jon Milner

|  |  |  |  | Thursday 28.07  | Friday 29.07   | Saturday 30.07                     |
|--|--|--|--|---|--|------------------------------------|
|  |  |  |  |   | 7:45 – 8:15<br>Breakfast                                 |                                    |
|  |  |  |  |   | 8:30 Morning Fellowship – IPC News                       | 8:30 – 9:45<br>Extended Breakfast  |
|  |  |  |  |   | 9:00 English & Danish language classes                   |                                    |
|  |  |  |  |   | 12:45 – 13:15<br>Lunch                                   | 10:00<br>Guided Tour to Copenhagen |
|  |  |  |  | 14:00<br>Arrival and allocation of rooms<br><br>(Tea & coffee in the Common Room) | 14:00<br>Getting to know Helsingør & City Walk (UN Hall) |                                    |
|  |  |  |  | 14:00 – 19:30 Danish Course Level Assessment/Interview *                          |  |                                    |
|  |  |  |  | 18:00 – 18:45<br>Dinner   | 18:00 – 18:45<br>Dinner                                  | 18:00 – 18:45<br>Dinner            |
|  |  |  |  | 19:30<br>Welcome & introductions (UN Hall)  | 19:00 Quiz (UN Hall)                                     | Free time                          |
|  |  |  |  | 21:00 Photos (Lounge)   | 20:00 Singing Club (UN Hall) ***                         |                                    |

• The program is tentative and subject to change! (26/06/22)

**Danish Course \*** **optional activity \*\*\***

図1 IPC Summer School Week 1 (筆者によって\*を追加)

**2022 English & Danish Language and Danish Culture & Society**

**Week 2**

INTERNATIONAL PEOPLE'S COLLEGE  
DEN INTERNATIONALE HØJSKOLE

Course coordinators: Søren Launbjerg, Rod Lee, Jon Milner, Mette Skamris and Julie Shackelford

| Sunday 31.07            | Monday 01.08                                    | Tuesday 02.08                                    | Wednesday 03.08                           | Thursday 04.08  | Friday 05.08                                   | Saturday 06.08          |
|-------------------------|---|--|---|---|--|-------------------------|
|                         | 7:45 – 8:15<br>Breakfast                        | 7:45 – 8:15<br>Breakfast                         | 7:45 – 8:15<br>Breakfast                  | 7:45 – 8:15<br>Breakfast                                | 7:45 – 8:15<br>Breakfast                       |                         |
| 9:00 – 11:00<br>Brunch  | 8:30 Morning Fellowship – IPC News              | 8:30 Morning Fellowship                          | 8:30 Morning Fellowship – IPC News        | 8:30 Morning Fellowship                                 | 8:30 Morning Fellowship – IPC News by students | 9:00 – 11:00<br>Brunch  |
|                         | 9:00 English & Danish language classes          | 9:00 English & Danish language classes           | 9:00 English & Danish language classes    | 9:00 English & Danish language classes                  | 9:00 English & Danish language classes         |                         |
| Free Time               | 12:45 – 13:15<br>Lunch                          | 12:45 – 13:15<br>Lunch                           | 12:45 – 13:15<br>Lunch                    | 12:45 – 13:15<br>Lunch                                  | 12:45 – 13:15<br>Lunch                         | Free Time               |
|                         | 14:00<br>Denmark: "The Welfare State" (UN Hall) | 14:00<br>Local Walking Tour (UN Hall)            | 14:00<br>Meet a Danish Designer (UN Hall) | 14:00 Introduction to Danish Language workshop **       | Free Time                                      |                         |
|                         | 16:00<br>Free time                              | 16:00<br>Free Time                               | 16:00<br>Free Time                        | Pronunciation – variation, dialect and class language * |  |                         |
|                         |   |  |   | 16:00 MF Prep/Study Block or free time **               | 16:00 Conversation Café – with Danish guests   |                         |
| 18:00 – 18:45<br>Dinner | 18:00 – 18:45<br>Dinner                         | 18:00 – 18:45<br>Dinner                          | 18:00 – 18:45<br>Dinner                   | 18:00 – 18:30<br>Dinner                                 | 18:00 – 18:45<br>Dinner                        | 18:00 – 18:45<br>Dinner |
| Free time               | 19:30 Folk High School Songbook (UN Hall) ***   | 19:30 Intro to IPC News groups (Lecture Hall) ** | 19:30 Sports ***                          | 20:00 Danish Movie Night ***                            | 19:30 Social Evening with Danish guests ***    | Free time               |

• The program is tentative and subject to change! (26/06/22)

**Danish Course \*** **English Course \*\*** **optional activity \*\*\***

図2 IPC Summer School Week 2 (筆者によって\*を追加)

2022 English & Danish Language and Danish Culture & Society



Week 3

Course coordinators: Søren Launbjerg, Rod Lee, Jon Milner and Susan Nyatanga

| Sunday 07.08            | Monday 08.08  | Tuesday 09.08   | Wednesday 10.08   | Thursday 11.08   | Friday 12.08  | Saturday 13.08          |
|-------------------------|---|---|---|--|---|-------------------------|
|                         | 7:45 – 8:15<br>Breakfast  | 7:45 – 8:15<br>Breakfast  | 7:45 – 8:15<br>Breakfast  | 7:45 – 8:15<br>Breakfast   | 7:45 – 8:15<br>Breakfast  |                         |
| 9:00 – 11:00<br>Brunch  | 8:30 Morning Fellowship – IPC<br>News by students<br><br>9:00 English & Danish language classes | 8:30 Morning Fellowship<br><br>9:00 English & Danish language classes   | 8:30 Morning Fellowship – IPC<br>News by students<br><br>9:00 English & Danish language classes                                     | 8:30 Morning Fellowship<br><br>9:00 English & Danish language classes  | 8:30 Morning Fellowship – IPC<br>News by students<br><br>9:00 English & Danish language classes           | 9:00 – 11:00<br>Brunch  |
| Free Time               | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>14:00 Kronborg Castle Visit                                       | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>14:00 MF Prep/Study Block or free time **<br><br>16:00 Intro to the Wednesday Excursion (UN Hall) | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>13:15 North Zealand Excursion: Tegner's Museum, Frederiksborg Castle & Louisiana Museum of Modern Art | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>14:00 Visit to Kingo Houses (Meet Entrance A)<br><br>16:00 MF Prep/Study Block or free time **<br><br>Denmark Quiz * | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>14:00 Intro to Danish Politics (UN Hall)<br><br>16:00 Conversation Café *** | Free Time               |
| 18:00 – 18:45<br>Dinner | 18:00 – 18:45<br>Dinner   | 18:00 – 18:45<br>Dinner   | 19:00 – 19:45<br>Dinner   | 18:00 – 18:45<br>Dinner  | 18:00 – 18:45<br>Dinner   | 18:00 – 18:45<br>Dinner |
| Free time               | Free Time   | 19:30 Forest Stratego or Danish movie***  | Free Time   | 19:30 Language ** Olympics (Big Hall)<br>Denmark Quiz *  | 19:30 Performances and Stories (UN Hall) ***  | Free time               |

• The program is tentative and subject to change! (26/06/22) Danish Course \* English Course\*\* optional activity\*\*\*

図 3 IPC Summer School Week 3 (筆者によって \* を追加)

2022 English & Danish Language and Danish Culture & Society



Week 4

Course coordinators: Søren Launbjerg, Rod Lee and Jon Milner

| Sunday 14.08            | Monday 15.08  | Tuesday 16.08  | Wednesday 17.08   | Thursday 18.08 |  |  |
|-------------------------|---|--|---|----------------|--|--|
|                         | 7:45 – 8:15<br>Breakfast  | 7:45 – 8:15<br>Breakfast   | 8:30 Morning Fellowship                                       |                |  |  |
| 9:00-11:00<br>Brunch    | 8:30 Morning Fellowship – IPC<br>News by students<br><br>9:00 English & Danish language classes                               | 8:30 Morning Fellowship<br><br>9:00 English & Danish language classes  | 9:00 – 10:00<br>Breakfast<br><br>12:00 Good-bye and departure |                |  |  |
| Free Time               | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>14:00 Danish Design & Architecture (UN Hall)<br><br>16:00 Introduction to Danish Food (UN Hall) | 12:45 – 13:15<br>Lunch<br><br>14:00 Course Evaluation (UN Hall)<br><br>16:00 Preparation for Farewell Dinner |   |                |  |  |
| 18:00 – 18:45<br>Dinner | 18:00 – 18:45<br>Dinner   | 18:00 – 19:00<br>Farewell Dinner   |   |                |  |  |
| Free Time               | 19:30 Preparation for Farewell Dinner   | 19:30 Farewell Ceremony/Party (UN Hall)  |   |                |  |  |

• The program is tentative and subject to change! (26/06/22)

図 4 IPC Summer School Week 4 (筆者によってサマースクール以外の活動を削除)

サマースクールの研修やアクティビティは様々であるが、主にワークショップや対話を通じて、デンマークの文化を学ぶものとなっている。具体的には午後にデンマークの福祉制度、政治、建築、デザイン、食文化などの研修を行い、夕刻には音楽、スポーツ、クイズ、映画、対話カフェなど英語を使いながら共に活動する多様なアクティビティが組み込まれている。また、世界遺産などを訪問するエクスカージョンが導入されており、歴史的視点からの学びも体験できるようになっている。これらの活動を通じて、多様性や異文化理解に対する情意面での向上や、コミュニケーションのツールとしての英語の重要性への気づきをもたらす効果があるものと期待できる。以下、IPCのサマースクールの有益性をまとめると以下の通りである。

- 全寮制の多文化共生環境における異文化体験が充実
- 授業内外で対話を重視し、共に生き、共に学ぶ教育環境
- 主体性を促進させる英語による授業やアクティビティが充実
- 平日毎日実施される英語習得の授業時間が充実
- 世界遺産にも近い郊外の環境の良い地域に立地
- 過去に日本人留学生を受け入れた経験有り
- 主要5カ国よりも授業と生活にかかる費用が安価
- 首都コペンハーゲンへのアクセスが良好

## 5. デンマーク短期文化研修プログラムの考案

上記のIPCのサマースクール参加を軸にし、サマースクール後に独自の研修を組み込むことで、北欧の文化を体験できる有益なプログラムを提案したい。具体的には、3週間のIPCでの学びや体験によって使用に慣れてきた英語力を学外の実践の場に移し、自らの英語を駆使して文化スポットや観光スポットを訪問し、デンマークについてさらに理解を深めるプログラムとする。また、北欧の首都とも呼ばれるスウェーデンのストックホルムを経由して帰国することで、デンマークとは異なる魅力や文化に触れる研修を追加したい。

デンマークのコペンハーゲンの首都圏とスウェーデンのストックホルムの首都圏の文化スポットや観光スポットの選定に関しては、現地調査の結果を踏まえ、有益なものを提示したい。

### 5.1. 首都コペンハーゲンにおける追加研修

IPCの3週間の研修に設定されているエクスカージョンでは、IPC近辺の世界遺産のクロンボー城、国立歴史博物館となっているフレデリクスボー城、ルイジアナ近代美術館を訪問することとなっており、異国の文化や歴史に触れる機会が提供されている。また、IPCの第1週目の土曜日はコペンハーゲンまでガイド付きのツアーが組み込まれている。以下では、それらのIPCのエクスカージョンに含まれない有益な研修として、街歩きによる首都コペンハーゲンの異文化体験スポットを紹介する。紹介する内容は、筆者が2016年9月に行った現地調査で得た情報に基づいている。

#### ● 研修スポット

現地で提供されるオプションツアーは多岐にわたっているが、主なものとして二階建て

のバスで主要な観光地を周遊するツアーがある。短時間で主要な観光スポットを訪問できるため効率は良いが、各スポットでゆっくり過ごす時間はそれほどない。よって、研修では、街歩きを中心に研修スポットを巡ることを提案する。

現地調査によって、中央駅から徒歩圏内には、世界で3番目に古い1843年開園のチボリ公園をはじめとした観光スポットが点在しており、徒歩により観光スポットを訪問できる環境にあることがわかった。半日あれば、かなりまとまった観光スポットの訪問が可能であった。以下では、研修先に適している徒歩圏内の主な観光スポットとして、旧市街のストロイエと有名な港町のニューハウン近辺のスポットを紹介する。

アンデルセン像が佇むコペンハーゲン市庁舎を出発点として東西に伸びる歩行者天国のストロイエでは、北欧雑貨ショップを廻る研修として、マガシン、イルム、アーティウムといったデパート廻りを行うことが可能である。また、日本でも人気のあるデンマーク発祥のレゴ、フライングタイガー、イヤマというショップ廻りも可能である。ストロイエは、街歩きをしながら歴史的な建造物やスポットを訪問することができる上に、常に何かしらの大道芸などのパフォーマンスを行っており、街歩きを楽しみながらデンマークの歴史や文化に触れることができる地域である。

1673年にクリスチャン5世によって建築されたニューハウンは「新港」を意味する港町で、コペンハーゲンを代表する観光スポットとなっている。アンデルセンの縁の地としても知られ、彼が住んでいた住居の建物も目にすることができる。ニューハウンでは美しい街並みを目の当たりにしながら、食事とともにショッピングも楽しむことができる環境である。ニューハウンからさらに歩を進めると、アメリエンボー宮殿へ辿り着く。アメリエンボー宮殿では、時間帯によって衛兵交代式を見学ができ、異文化体験としては有意義な研修となる。その他にも歴史的な建造物として、クリスチャンスボー城、ラウンドタワーがあり、徒歩圏内で多くの歴史や文化に触れる研修が可能となる街である。

#### ● 交通事情

空港から市街地への移動は、地下鉄を利用すると30分弱で到着でき、利便性には優れている。市街地では徒歩圏内に観光スポットがあるため、公共の交通機関を使用せずに移動ができる。自転車移動手段の一つであるため、バイクレーンが充実しており、自転車利用者が多く、レンタサイクルも充実している。少し離れたスポットに行く場合でも、電車、バス、地下鉄が乗り放題となるパスカードを使うことで、公共交通機関も利用しやすくなっており、貸切バスを手配する必要がない。公共交通機関を使うことは、費用を抑えることができる上に、現地の人々の生活の一部が体験できるメリットもある。

#### ● 使用言語

上述の通り、デンマークは世界的にも英語運用力の高い国であるため、コペンハーゲン市内はどこに行っても英語でコミュニケーションが取れる。デンマーク語を習得していない場合でも、英語を使用することで、滞在中の不便はない。研修に参加する学生が積極的に英語でコミュニケーションをとる実践の場として適している。

#### ● 治安

コペンハーゲンは比較的治安が良いとされており、夜でも一人で街歩きもできる環境で



あった。一方で、他の世界的観光地と同様に、中央駅内および周辺では、スリや置き引きなどの被害事例が報告されていることから、該当する場所での人の往来には注意が必要である。

以上の現地調査についてまとめると、研修に参加する学生にとって安全で有意義なデンマーク研修のプランを提供できる可能性があるといえる。

## 5.2. スウェーデンのストックホルムにおける追加研修

今回提案する研修プログラムの最終盤には、デンマークのコペンハーゲンに加えて、スウェーデンの首都であるストックホルムも訪問することとしたい。北欧の首都とも呼ばれ、人口は約160万人の多文化共生社会であるストックホルムを経由して帰国することで、デンマークとは異なる魅力や文化に触れ、異文化体験機会を増すことができる研修となる。ストックホルムは、Technical Visit として、福祉の現場や、学校、企業、観光共生都市「ハンマルビー」などの視察を目的とした各国からの視察旅行も行われている。そのような研修に適した都市であるため、フォルケホイスコーレでの研修を終えた後に、デンマークのコペンハーゲン市街で研修を行い、国境を超えてスウェーデンのストックホルム経由で帰国することを提案したい。詳細はプログラム概要で後述する。

筆者が2017年9月に行った現地調査では、ストックホルムを中心に訪問し、世界遺産、博物館の訪問などの従来型の名所を廻る観光にとどまらず、ノーベル賞関連施設、スタジオジブリのアニメのモデル地に関する視察を行い、研修の素材として適切かどうか確認した。以下では、現地調査で得た情報を提示したい。

### ● 研修スポット

ストックホルムには、歴史、文化、自然をテーマとした多様な現地ツアーが存在する。旧市街では徒歩圏内に主要な観光スポットがあり、旧市街以外では、公共の交通機関を利用することで、現地のオプションツアーに参加しなくとも、観光スポットを訪問できるアクセスの良さがある。以下では、研修に組み込む価値がある旧市街の観光スポットと、旧市街以外の観光スポットを紹介する。

旧市街であるガムラスタンは、ストックホルム最大の観光地で、スターズホルメン島という場所に位置しており、スタジオジブリのアニメ映画『魔女の宅急便』のモデルともなった場所もある。街並みそのものが観光地化しており、徒歩圏内に多くの観光スポットがあり、街中を歩きながら一日で主なスポットを観光することができる。主なスポットとして、ストックホルム王宮での衛兵交代式、ノーベル博物館、ストックホルム最古のストックホルム大聖堂、フィンランド教会（スウェーデン最小の像、通称アイアンボーイ）、道幅90cmのモーテン・トローツィグ通りが挙げられる。

一方、旧市街以外では、ストックホルム市立図書館、ヴァーサ号博物館、野外博物館スカンセンは訪問すべき代表的な観光スポットである。ストックホルム市立図書館は、「スウェーデンの建築の父」とも呼ばれるエリック・グンナー・アスプルンド設計の建築物として世界的に有名であり、図書館でありながら、その内装を写真に収めようと多くの観光客が集まる観光スポットとなっている。

ヴァーサ号博物館では、1628年の処女航海中に沈没し、1961年に引き揚げられた軍艦ヴァーサ号が展示されている。ヴァーサ号は世界で唯一現存する17世紀の船舶であり、その原型の95%以上が保持されているという貴重な文化財となっている。

スカンセンは、1891年に開業された世界最古の野外博物館で、工業化以前の1900年代のスウェーデンの生活が見られ、農場、木造教会、工場、サーミ人の住居、歴史的な建物等が広い博物館内に点在している。160の建物はスウェーデンの各地から移築され、昔の暮らしぶりを見ることができる。また、野外動物園も併設されている。

#### ● 交通事情

アーランダ空港からストックホルム中央駅への移動は、アーランダ・エクスプレスを利用すると、所要時間は約20分で、バスを利用すると45分弱で到着でき、利便性に優れている。旧市街へは市街地に宿泊すると徒歩圏内で行けるため、街歩きによって旧市街内を周遊することが可能である。市街地ではSLアクセスカードを購入し、地下鉄、電車、バス等を利用することで、徒歩圏内ではない観光スポットへも短時間でアクセスできるため、観光バスを貸し切る必要はない。公共交通機関を利用することで、費用を抑えることができる上に、現地の人々の生活の一部が体験できるメリットもある。

#### ● 使用言語

スウェーデンもデンマーク同様に世界的にも英語運用力の高い国であるため、ストックホルム市内ではどの場面においても英語が通じるという点は、学生の積極的な英語運用の機会として活用できるものである。

#### ● 治安

ストックホルムは比較的治安が良いとされており、夜でも一人で街歩きもできる環境であった。一方で、デンマークのコペンハーゲンと同様に、中央駅内および周辺では、スリや置き引きなどの被害事例が報告されていることから、該当する場所での人の往来には注意が必要である。

以上の現地調査を踏まえると、デンマークでの研修後にストックホルムに経由し帰国することは、デンマークとは異なる北欧のスウェーデン特有の異文化に触れることができ、有意義な研修となることがわかった。観光スポットが都市の中央部に点在していることから、参加学生には事前研修時にオリジナルの半日観光ツアーのプランニングを実施することも有用かと思われる。

### 5.3. 文化研修プログラムの内容

#### ● 研修名

北欧文化研修

#### ● 研修先

デンマークのフォルケホイスコーレの一つである International People's College、デンマークの首都コペンハーゲン、スウェーデンの首都ストックホルム

● 研修期間

7月末から8月中旬に実施される International People's College のサマースクールに参加し、その後1週間コペンハーゲンとストックホルムにて追加研修を実施する。北欧のこの時期は気候が良く、研修には最適の時期である。

● 派遣対象

全学科2年次生以上（10名～20名）

● 研修目的

多文化共生の環境下で、異文化理解力と英語コミュニケーション能力の向上を図るとともに、コミュニケーションのツールとしての英語スキルの習得へのモチベーションの向上も図る。同時に北欧の2大都市の教育、歴史、文化に関する知識や理解を深めることを目的とする。

● 研修内容

事前研修⇒出国⇒IPCサマースクール⇒追加研修⇒帰国⇒事後研修

事前研修では、研修に対するマインドセットやストックホルムでのグループワークの訪問先の検討を行う。IPCでの研修後は、コペンハーゲンとストックホルムの2大都市で研修を行い、帰国する。帰国後の事後研修では、研修での学びの振り返りと英語スキルの習得に対する具体的な目標と方策を設定する。

● 研修費用

IPCサマースクールの費用13,500DKK（約1,800EURO）、渡航費、追加研修費、保険等の必要経費。総額45万円～50万円を想定（1クローネ＝19円 2022年12月）

● 研修スケジュール

IPCのサマースクールを組み込み、後半にコペンハーゲンとストックホルムでの研修を追加したスケジュール案は以下の通りである。

| Week 1 | Sunday  | Monday                | Tuesday                | Wednesday             | Thursday | Friday                  | Saturday |
|--------|---------|-----------------------|------------------------|-----------------------|----------|-------------------------|----------|
| 午前     |         |                       |                        | 日本出国                  |          | IPC英語授業                 | IPC活動    |
| 午後     |         |                       |                        |                       | IPC着・歓迎会 | IPC活動                   | IPC小旅行   |
| 宿泊地    |         |                       |                        | 機中泊                   | IPC      | IPC                     | IPC      |
| Week 2 | Sunday  | Monday                | Tuesday                | Wednesday             | Thursday | Friday                  | Saturday |
| 午前     | IPCフリー  | IPC英語授業               | IPC英語授業                | IPC英語授業               | IPC英語授業  | IPC英語授業                 | IPCフリー   |
| 午後     | IPCフリー  | IPC活動                 | IPC活動                  | IPC活動                 | IPC活動    | IPC活動                   | IPCフリー   |
| 宿泊地    | IPC     | IPC                   | IPC                    | IPC                   | IPC      | IPC                     | IPC      |
| Week 3 | Sunday  | Monday                | Tuesday                | Wednesday             | Thursday | Friday                  | Saturday |
| 午前     | IPCフリー  | IPC英語授業               | IPC英語授業                | IPC英語授業               | IPC英語授業  | IPC英語授業                 | IPCフリー   |
| 午後     | IPCフリー  | IPC小旅行                | IPC活動                  | IPC小旅行                | IPC活動    | IPC活動                   | IPCフリー   |
| 宿泊地    | IPC     | IPC                   | IPC                    | IPC                   | IPC      | IPC                     | IPC      |
| Week 4 | Sunday  | Monday                | Tuesday                | Wednesday             | Thursday | Friday                  | Saturday |
| 午前     | IPCフリー  | IPC英語授業               | IPC英語授業                | IPC発                  | 市街研修     | ホテルチェックアウト<br>市街研修      | 市街研修     |
| 午後     | IPCフリー  | IPC活動                 | 評価・送別会                 | コペンハーゲン着<br>ホテルチェックイン | 市街研修     | ストックホルムへ移動<br>ホテルチェックイン | 市街研修     |
| 宿泊地    | IPC     | IPC                   | IPC                    | コペンハーゲン               | コペンハーゲン  | ストックホルム                 | ストックホルム  |
| Week 5 | Sunday  | Monday                | Tuesday                | Wednesday             | Thursday | Friday                  | Saturday |
| 午前     | 市街研修    | 市街研修                  | ホテルチェックアウト<br>スウェーデン出国 | 日本帰国                  |          |                         |          |
| 午後     | 市街研修    | グループワーク<br>グループで研修先訪問 |                        |                       |          |                         |          |
| 宿泊地    | ストックホルム | ストックホルム               | 機中泊                    |                       |          |                         |          |

図5 IPCのサマースクールを含んだ研修日程案（筆者作成）

## 6. おわりに

異文化理解や英語習得を目的とした留学や研修の対象地域としては、英米を中心とした主要5カ国であった。近年では安価で英語習得に特化したプログラムを提供しているフィリピンやマレーシアも留学先として注目を集めている。本稿ではそのような状況の中、新たな魅力ある研修先としてデンマークを取り扱った。特に短期留学や研修においては、デンマーク発祥のフォルケホイスコーレ（IPC）における研修が、以下の点から学生に有益であることを論じた。

- 全寮制の多文化共生環境における異文化体験が充実
- 授業内外で対話を重視し、共に生き、共に学ぶ教育環境
- 主体性を促進させる英語による授業やアクティビティが充実
- 平日毎日実施される英語習得の授業時間が充実
- 世界遺産にも近い郊外の環境の良い地域に立地
- 過去に日本人留学生を受け入れた経験有り
- 主要5カ国よりも授業と生活にかかる費用が安価
- 首都コペンハーゲンへのアクセスが良好

また、IPCでの研修の修了後は、北欧の2大都市であるコペンハーゲンとストックホルムの市街での研修を追加した。現地では主に街歩きと公共交通機関を利用し、王宮、世界遺産、歴史的建築物、日本にも進出している北欧起源の企業等を訪問する。街歩きでは観光バスで観光スポットを転々とする研修とは異なり、自らのペースで興味があるものを観察することができ、通常のツアーでは気づかない発見がある。また、公共の交通機関を利用することは、費用が安価であるだけでなく、現地の人々の生活を体験でき、異文化体験としては有意義である。実際に現地へ赴き、間近に研修対象を視察することで、北欧の文化や歴史について、通常のツアーでは体験できない、より深い異文化理解体験となることが想定される。

短期留学や短期研修の効果としては、言語面での向上はそれほど大きくないとされているが、IPCでの英語使用環境と後半の2大都市研修による英語使用の実践によって、研修後の英語学修への意欲の向上が期待されるとともに、英語のスキル面での向上も期待したい。IPCでの多文化共生環境では、異文化理解や情意面での肯定的な向上は大いに期待できるものである。いずれの学科の学生であれ、英検2級やTOEIC L&R 500点程度のレベルに到達している2年次生以上の学生にとって、IPCの研修と2大都市の訪問研修は有意義なものとなると仮定している。近い将来、本稿で提案したプログラムが採用されることを期待したい。

### 【注】

- 1 大津、佐竹（2016）「短期海外語学研修はどれほどの効果があるのか - 常磐大学の場合」、鈴木、林（2014）「海外語学短期留学の効果：学生の言語的・情意的側面に見られる変化」、仁科、表谷、森下（2017）「短期留学が日本人留学生にもたらす影響の実態調査」で情意面での向上について言及されている。
- 2 東洋英和女学院大学では、IPCへの3週間の「歴史文化研修」を設定しており、敬和学園大学は、デンマークの「ヴァナゴップ・ホイスコーレ」への短期留学制度を設定している。

## 【引用文献】

- 田丸祐輔（2020）「日本人学生の留学の現状と課題－日本人学生留学状況調査の調査結果から－」『留学交流』Vol.113, 18-30. 2022年12月23日参照
- 留学くらべる「サマースクール－費用やおすすめ国（アメリカ、フィリピン、イギリスなど）の情報が満載！」（<https://ryugaku.kuraveil.jp/purposes/summer-school>）2022年12月24日参照
- 東洋経済 Online「フィリピンに留学する人が増え続けている理由」（<https://toyokeizai.net/articles/-/285097>）2022年12月24日参照
- 独立行政法人日本学生支援機構「2020（令和2）年度日本人学生留学状況調査結果」（<https://www.studyin-japan.go.jp/ja/statistics/nippon/data/2020.html>）2022年12月24日参照
- 独立行政法人日本学生支援機構「留学生調査」（[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/related\\_information/chosa.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/related_information/chosa.html)）2022年12月24日参照
- 一般社団法人海外留学協議会「留学関連データ」（<https://www.jaos.or.jp/trend-data>）2022年12月26日参照
- Education First「The world's largest ranking of countries and regions by English skills, 2022 edition」（<https://www.ef.com/wwen/epi>）2022年12月25日参照
- 大津理香、佐竹正夫（2016）「短期海外語学研修はどれほどの効果があるのか－常磐大学の場合」『留学交流』Vol.65, 16-24. 2022年12月23日参照
- 鈴木理恵、林千賀（2014）「海外語学短期留学の効果：学生の言語的・情意的側面に見られる変化」『関東甲信越英語教育学会誌』第28巻, 83-96
- 仁科恭徳、表谷純子、森下美和（2017）「短期留学が日本人留学生にもたらす影響の実態調査」『教職教育センタージャーナル』第3号, 1-15
- 東洋英和女学院大学「留学プログラム」（<https://www.toyoeiwa.ac.jp/daigaku/kokusai/ryugaku/nintei-ryugaku.html>）2022年12月23日参照
- 敬和学園大学「留学プログラム」（<https://www.keiwa-c.ac.jp/academic/abroad/>）2022年12月23日参照
- UN World Happiness Report「World Happiness Report」（[http://worldhappiness.report/wp-content/uploads/sites/2/2016/03/HR-V1\\_web.pdf](http://worldhappiness.report/wp-content/uploads/sites/2/2016/03/HR-V1_web.pdf)）2022年12月24日参照
- Universitas 21「9th & Final Ranking of National Higher Education Systems 2020」（[https://universitas21.com/sites/default/files/2020-04/U21\\_Rankings%20Report\\_0320\\_Final\\_LR%20Single.pdf](https://universitas21.com/sites/default/files/2020-04/U21_Rankings%20Report_0320_Final_LR%20Single.pdf)）2022年12月24日参照
- City of Copenhagen「Copenhagen Facts」（<http://international.kk.dk>）2022年12月25日参照
- OECD Environmental Performance Reviews: Denmark 2019（<https://www.oecd-ilibrary.org/sites/3093cb23-en/index.html?itemId=/content/component/3093cb23-en>）2022年12月25日参照
- 一般社団法人IFAS「フォルケホイスコーレ」（<https://www.ifas-japan.com/folke/>）2022年12月23日参照
- 清水満（1996）『改訂新版 生のための学校－デンマークで生まれたフリースクール「フォルケホイスコーレ」の世界』新評論
- 矢野拓洋、松浦早希、松永圭世、真庭伸悟、一般社団法人IFAS（2022）『フォルケホイスコーレのすすめ－デンマークの「大人の学校」に学ぶ－』花伝社
- Britannica「folk high school, Scandinavian education」（<https://www.britannica.com/topic/folk-high-school>）2022年12月25日参照
- Ministry of Children and Education「Non-formal adult education」（<https://eng.uvm.dk/adult-education-and-continuing-training/non-formal-adult-education>）2022年12月25日参照
- Statistics Denmark「Folk high school」（<https://www.dst.dk/en/Statistik/emner/uddannelse-og-forskning/voksen-og-afteruddannelse/hoeskoeler>）2022年12月25日参照
- International People's College「Summer School」（<https://ipc.dk/summer-school/>）2022年12月23日参照
- 同上「Example of Timetable」（<https://ipc.dk/summer-school/english-language-course-example-of-timetable>）2022年12月24日参照
- スウェーデン観光文化センター「在日スウェーデン大使館公認 観光情報サイト」（<http://lets-go-sweden.com/company-visit/>）2022年12月26日参照
- Statistics Sweden（<https://www.scb.se/en/>）2022年12月25日参照